

## 様式第 4 号

課題名	当院呼吸サポートチームにおける多職種気管切開チームの立ち上げと、6ヶ月の活動報告
承認番号	2020-12 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 看護部看護師 ICU 病棟 氏名 佐々木 龍朗
研究期間	(西暦) 2020 年 6 月 ~ (西暦) 2020 年 12 月
研究の意義・目的	気管切開トラブルは生命に関わりますが、世界中で、気管切開のケアや合併症予防策は標準化されていません。海外で多職種気管切開チームの介入が一般病棟での気管切開関連合併症を予防する報告がされましたが、本邦における報告はありませんでした。そのため本院では呼吸サポートチームで気管切開チームを立ち上げ、2019年7月より気管切開患者さまのケアや合併症予防のために活動を開始いたしました。活動開始から半年間を過ぎ、今後さらに良い医療の提供ができるように、対象となった患者さまのケアの方法や特徴などを振り返ります。
研究の方法 (対象期間含む)	実際の活動内容： チームの目標を「チューブ閉塞による窒息をゼロに」とし、対象はチューブ使用中の全気管切開患者さまとしました。チーム構成は看護師、理学療法士、医師の11人で、気管切開患者さまの全例把握、加湿・チューブ閉塞予防フローと緊急アルゴリズム作成、病棟勉強会、週1回の回診と病棟看護師の評価シート記入、ベッドサイドの気管切開情報掲示を基本として、適宜チューブ交換・変更・抜去を行いました。 活動開始から半年間の解析を行い、当院における気管切開患者さまの管理の実際や、気管切開チームの活動を振り返ります。 対象は2019年7月～2020年1月までの半年間に、気管切開チーム介入の対象となった患者さまです。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	データベースはファイルサーバーに置き、対応表を作成し、情報を匿名化する。 匿名化した情報はファイルにパスワードを設定し、パスワード設定したパソコン内にて厳重に管理する。
利用又は提供する 試料・情報の項目	使用している気管切開チューブ、年齢、性別、入院病棟、原疾患など
試料・情報を 利用する者の範囲	研究責任者：ICU病棟看護師 佐々木龍朗および集中治療部医師藤澤美智子
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	ICU病棟看護師 佐々木 龍朗
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 看護部 ICU病棟看護師 氏名佐々木 龍朗 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101